

川上村立川上中学校 総合的な学習の時間 全体計画

学校教育目標 感性豊かに 思慮深く 実践する生徒に

全校研究テーマ 主体的に学びに向かい、自らの考えを進んで表現できる生徒の育成
～友とかかわりあいながら、伝え合う力が高まるような指導のあり方～

【総合的な学習の時間】

探究的な見方・考え方を働かせながら、自己の生き方を考えるための資質・能力の育成
～探究のプロセスを意識した学習に協働して取り組む生徒の育成を目指して～
○自ら問いを見出し、主体的に課題に取り組む生徒
○友の意見や考え方から自分の意見を深め、**伝えられる**生徒

【生徒の実態】

○興味のある事柄には進んで取り組む。
○落ち着いて授業に取り組める。
○教師や生徒の話に耳を傾けられる。
○課題に対して素直に取り組める。

▲考える力や表現する力が十分に育っていない。
▲相手意識が希薄。
▲自分の考えを発信することが苦手。
▲自他の意見を重ね合わせることに慣れていない。

【手立て】

解決の方法と結果の見通しを持たせ学習課題を設定する。また、既存概念を揺さぶり、立ち止まり考え合う場面を設ける

他者を意識して自己表現せざるを得ない場面を設定する。また、生徒の必要感を踏まえ、理由や根拠を明らかにした仲間同士のアドバイスや話し合いの場面を設ける。

「総合的な学習の時間」で育成する資質・能力を身に付けるために

「知識及び技能」
学んだことの有用性を実感するため、探求の課程を通じて、自分自身で取捨選択し、整理し、既有的知識と結びつける。

「思考力・判断力・表現力等」
この課題を解決したいという必要感を前提に、実社会や実生活の中から問いを見出し、情報を集め、整理・分析し、まとめ、表現する。

「学びに向かう力、人間性等」
より良い生活や社会の創造に向け、他者と協働的に取り組み、異なる意見を生かして、新たな知識を創造しようとする。

	探究課題	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等				学びに向かう力・人間性等
			課題設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	
1学年	○川上村を知ろう	川上村の特徴について具体的な事実を捉え、良さや課題について探究し、その背景となっている事柄に気づく。	地域の人々やその道の専門家との交流等を通し、わき上がる疑問に基づいて、課題を見付ける。	課題解決に必要な情報を図書館資料やインターネット・メディアから収集し、選択する。	課題の解決にとってその情報が必要かどうか判断し、取捨選択する。	自分が伝えたいことを相手に分かりやすく伝えるために、必要な情報を取捨選択する。	課題の解決に向けて、主体的に取り組む。 課題の解決のために、見通しを持って、自ら計画を立てて学習に向かう。
2学年	○有意義な職場体験学習 ○沖縄への修学旅行を成功させよう	有意義な職場体験学習や沖縄への修学旅行を成功させるために「ひともの・こと」に関わり、より良い地域社会との関わり方に気づく。	地域社会で働く人々や沖縄の人々の願いや思いに触れ、自己の生き方に関わる課題を見付ける。	目的に応じ、的確に情報を収集選択し、蓄積する。	解決の見通しにしたがって、情報を順序よく並べたり、書き直したりする。	調査したりまとめたりしたこと、自分の考えなどをレポート、新聞、図、ポスター、表、グラフ等で表す。	他の生徒と協働的に取り組み、異なる見方や意見を交流する。
3学年	○川上村に恩返ししよう	村のために自分たちができることを考え、具体的に活動することにより、自分の将来や生き方について考え、より良い生き方に気づく。	社会で解決が求められている切実な問題とそれに尽力する人と出会うことで、現実の課題に向き合う。		整理した情報をもとに比較・分類し、傾向を読み取ったり、因果関係を見つけたりする。	明らかにした考えや意見を結びつけたり、関連づけたりする。	異なる意見を生かして新たな知を創造しようとする。